



ひがしなるせ

議会だより

発行 No. 154
平成21年7月20日



夏本番!
待ちに待ったプール開き

6月9日から12日までの会期で定例会が開かれ、平成21年度の各会計補正予算並びに各種条例の制定及び改正などの議案が提出された。会期の最終日には、議員発議による国の機関などへの意見書案が提出され、これらすべての議案は全会一致で原案可決された。

6月 定例会



岩井川地区コミュニティ活動の拠点としての役目を終えた岩井川コミュニティセンター

児童館設置条例を一部改正

岩井川国庫児童館(岩井川コミュニティセンター内に設置)を廃止し、今後、田子内児童館が全村を対象とした事業を実施することとした。

岩井川コミュニティセンター設置条例等を廃止

- 次の条例を廃止することとした。
- ・ 東成瀬村老人憩いの家設置条例
 - ・ 岩井川コミュニティセンター設置条例
 - ・ 岩井川コミュニティセンター等使用料徴収条例

工事請負契約を締結

- ◆ 工 事 名 東成瀬村民体育館建設工事
 - ◆ 契約の方法 指名競争入札
 - ◆ 契約 額 二億九、九〇二万二、五〇〇円
 - ◆ 契約の相手方 湯沢市横堀字六郎川原二番地九株式会社 三友建築所
- 代表取締役 菅野 俊 二

6月定例会議決事項名

21年度一般会計補正予算の主なもの

【歳入】

- ◎次世代育成支援対策交付金増・・・・・・・・・・15万円
- ◎発熱外来センター設置費補助金・・・・・・・・10万円
- ◎消費者行政活性化交付金・・・・・・・・・・25万円
- ◎ふるさと雇用再生臨時対策基金事業費補助金・・1,181万円
- ◎緊急雇用創出臨時対策基金事業費補助金・・654万円
- ◎過疎対策事業債増・・・・・・・・・・1億120万円
- 〔まちづくり事業債・・・・・・・・・・1,820万円〕
- 〔社会体育施設整備事業債・・・・・・・・8,300万円〕

【歳出】

- ◎ラジオ中継放送所等設計等委託料追加・・・・・・・・320万円
- ◎光ファイバー設置事業費追加・・・・・・・・130万円
- ◎岩井川コミュニティセンター解体工事費等・・1,500万円
- ◎税システム保守委託料減・・・・・・・・・・422万円
- ◎介護サービス事業会計への繰入金減・・・・△2,623万円
- ◎次世代育成支援後期行動計画ニーズ調査委託料・・54万円
- ◎簡易水道事業会計への繰入金追加・・・・・・・・590万円
- ◎新型インフルエンザ対策費・・・・・・・・・・464万円
- ◎ごみ処理費減・・・・・・・・・・△394万円
- ◎緊急雇用対策費・・・・・・・・・・1,885万円
- 〔縄文ロマン事業費・・・・・・・・154万円〕
- 〔高齢者生活相談等事業委託料・・・・・・・・157万円〕
- 〔生ゴミ堆肥化推進事業委託料・・・・・・・・1,024万円〕
- 〔使える森を作るための拡大推進事業費・・550万円〕
- ◎栗駒山荘通信設備移設工事費・・・・・・・・1,000万円
- ◎京都大学交響楽団演奏会費用・・・・・・・・111万円
- ◎社会体育施設整備費追加・・・・・・・・・・8,300万円
- ◎財政調整基金積立金追加・・・・・・・・・・1,000万円
- ◎予備費追加・・・・・・・・・・581万円

案 件	
東成瀬村児童館設置条例の一部改正 (2ページに関連記事掲載)	
岩井川コミュニティセンター設置条例等の廃止 (2ページに関連記事掲載)	
工事請負契約の締結 (2ページに関連記事掲載)	
工事請負契約の変更 (3ページに関連記事掲載)	
平成21年度東成瀬村一般会計補正予算(第1号) (1億2,034万5,000円 追加)	
平成21年度東成瀬村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) (36万4,000円 追加)	
平成21年度東成瀬村介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第1号) (42万円 追加)	
平成21年度東成瀬村介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)補正予算(第1号) (2,149万1,000千円 減額)	
平成21年度東成瀬村簡易水道事業特別会計補正予算(第1号) (850万円 追加)	
平成21年度東成瀬村簡易水道事業特別会計への繰入れ (一般会計からの繰入額を5,600万円以内とするもの)	



いよいよ着工 村民体育館建設工事

工事請負契約を変更

◆工事名

東成瀬村合併処理浄化槽設置工事
(7工区)

※ジュネス栗駒スキー場内

◆変更前の契約額

五、六七〇万円

◆変更後の契約額

五、七五五万五、七五〇円

◆契約の相手方

東成瀬村田子内字田子内六番地
大橋建設株式会社

◆変更の理由

代表取締役 古谷秀克
浄化槽本体の建設位置の変更及び掘削法
面が崩落したことにより工事費が増額と
なったため。

一般質問



佐々木 健 夫 議員

雇用対策事業を積極的に取り込むべき

村長／四つの事業で十六人の雇用を見込んでいます

問 国の雇用対策事業に基づいて、秋田県ではふるさと雇用再生と緊急雇用創出事業の二つの基金を設けて、市町村に対してこの事業に取り組みよう進めている。雇用低迷の時こそ、村でも積極的に取り込むべきではないか。

答 今回の補正予算でふるさと雇用再生事業として、高齢者生活相談支援員を雇用し高齢者世帯などの既存サービスに当てはまらない事業を支援する。また、各家庭から出る生ゴミを回収し堆肥化して資源の還元を図るようにしたい。この二つの事業を行い、6人の雇用を見込んでいる。

また、緊急雇用創出事業では、滝ノ沢上ノ捨遺跡を試掘調査する縄文ロマン事業と杉人工林の間伐材及び育成天然林の改良事業から出る伐材を回収して有効活用を図る事業を行い、この二つの事業で

は10人を雇用し、四つの事業合わせて16人の雇用を見込んでいる。

豚新型インフルエンザへの対応は

問 メキシコ発豚新型インフルエンザが発生して、国中がパニックになっている。村でも対策行動計画を作り、また、先日対策本部を設置して対応しているが、計画と対策本部の具体的な内容などを伺う。

答 現在は対策行動計画に基づいて対応しているが、役場では退庁後の午後8時まで庁内に電話当番を置いて、村民から異常電話があったときは、県の発熱外来センター（湯沢保健所）へ連絡して対応する体制になっている。

首長自らの給与削減に対する見解は

問 最近の首長選挙時に、自らの給与を削減することを公言することが多くなってきた。厳しい財政の折、首長自ら身を削って範を示すことには敬服するが、30%、或いは50%削減となれば、部長や課長の一般職員よりも給与が低くなる場合もあり、一般住民からすると理解に苦しむことにもなるし、以後の首長選に対しても、いろいろな面で波及、波紋が生ずると思うので、当事者である村長の見解を伺う。

答 首長の給与は職務に対する対価の報酬と考えている。質問のとおり給与者は他から報酬を得られないし、生活給であるとなれば、それだけ仕事をしっかりとやらなければならぬと考える。



緊急雇用対策を活用する予定の「縄文ロマン事業」

有能な人材が等しく立候補するためには、生活給として補償していかねばならない制度と想い、給与の半額とか退職手当をいただかない条例を作るとかは、なかなか現実問題として難しいと思われる。

（文責は質問議員）

5 月 臨 時 会

5月22日に臨時会が開催され、各種条例の一部改正や平成20年度各会計補正予算の専決処分等の案件がすべて全会一致で可決・承認された。

案 件	
専 決 処 分	一般職員の給与に関する条例等の一部改正
	東成瀬村税条例の一部改正
	東成瀬村国民健康保険税条例の一部改正
	東成瀬村過疎地域自立促進のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正
	平成20年度東成瀬村一般会計補正予算（第7号）
	平成20年度東成瀬村国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第4号）
	平成20年度東成瀬村介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第4号）
	平成20年度東成瀬村下水道事業特別会計補正予算（第5号）
平成20年度東成瀬村繰越明許費繰越計算書	

一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正

**主
な
内
容**

議員及び特別職、一般職の職員の6月に支給される期末手当等の支給率を引き下げることにした。

	期末手当	勤勉手当	6月期計
議員	1.60月→1.45月(▲0.15月)	—	1.60月→1.45月(▲0.15月)
特別職	1.60月→1.45月(▲0.15月)	—	1.60月→1.45月(▲0.15月)
一般職	1.40月→1.25月(▲0.15月)	0.725月→0.675月(▲0.05月)	2.125月→1.925月(▲0.20月)

村税条例及び国保税条例の一部を改正

地方税法等の一部が改正されたことにより、村税条例の一部を改正することとした。

◆個人村民税

- ・住宅ローン特別控除の創設
- ・企業型確定拠出年金について、新たに個人からの拠出も控除に認める
- ・平成21年～22年に取得した土地を5年を超えて所有し、譲渡した場合は1,000万円の特別控除が適用等

◆固定資産税

- ・平成21年度評価替に伴い、宅地等に係る負担調整措置の仕組みを継続等

◆国保税

- ・これまで、2割軽減については軽減申請が必要であったが、7割及び5割軽減と同様、一律軽減とする
- ・介護納付金課税額の課税限度額（現行9万円）を10万円に引き上げる

7 月 臨 時 会

7月13日に臨時会が開催され、条例の廃止や平成21年度一般会計補正予算等の案件がすべて全会一致で可決された。

案 件	
秋田栗駒リゾート株式会社の経営状況を説明する書類の提出	
田子内老人憩いの家使用料徴収条例を廃止する条例	
物品供給売買契約の締結	
平成21年度東成瀬村一般会計補正予算（第2号）	
平成21年度東成瀬村介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）補正予算（第2号）	
平成21年度東成瀬村介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）への繰入れ	

圧雪車を購入

- 主
な
内
容**
- ◆契約方法 指名競争入札
 - ◆契約金額 35,700,000円
 - ◆契約の相手方 男鹿市船越字前野113-12 有限会社エンドウ 代表取締役 遠藤敏夫

平成21年度一般会計補正予算

- 主
な
補
正
内
容**
- ※歳入
 - 地域活性化・経済危機対策臨時交付金 1億8,079万円
 - 財政調整基金繰入金増 3,300万円
 - 過疎対策事業債増 5,320万円
 - ※歳出
 - 地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業 2億6,670万円

ポ ー ト

議会では7月1日から3日にかけて、常任委員会合同により先進地行政視察を実施した。総務教育民生常任委員会では「家庭から出る生ゴミの堆肥化事業」を、産業建設常任委員会では「農地・水・環境保全向上対策事業」を主な課題として、その先進事例を学んだ。以下、その概要を報告する。

田沢頭グリーンネットの農地・水・環境保全向上対策事業

産業建設常任委員 佐々木 健 夫

山形県小国町の田沢頭地区は、標高は本村より低く、積雪量は平地で2m、山間部は5mにもなる。集落の形状、田や畑を見ると、むしろ本村の方が区画が大きく整理されている。畑には草が生え、見栄えが良くない。ただ、1畝や2畝のところにごま、粟、ヒエ、キビなどの雑穀を植えて町の特産物の原材料として小国町農業振興公社に提供している。少しでも収入を得るといふ^{たぐさ}運しさが見えた。また、道端の小さい畑に親子会の花壇や道路沿いに花を植えるなど、「みんなでつくろうなごやかなむら」を目指してという一体になった組織を確立して行動していることは注目すべきものがあつた。



雑穀の栽培展示畑

田沢頭地区の人口は117人であるが、営農活動は19人で、水田27.5ha、畑2.6ha、草地2.8haの規模で、水田のうち21.1haを8人で付加価値を付けた特別栽培米を作り、田1枚ごとに栽培標識を立て管理していた。

このように地区一丸となる堅固な組織を作り、老若男女皆がそれに基づき活動していくこと、農業と環境の保全向上という目的に合わせ得

の向上を狙った活動が軌道に乗ってきたことは、すばらしいことである。



地域のお母さん達による雑穀の袋詰め作業

どんな組織活動でも奉仕活動のみでは組織が続かないと言われる中で、このグリーンネットの石垣事務局長が言った「利益があるようにしないと続いて(自立して)いかない」ということが分かりやすかつたし、これを成し得るのは、パソコン事務などに熟練した事務局員が先導したからこそということが、なお分かりやすかつた。やはり、そこにも事を仕掛けた人、人材がいた。



山菜やキノコなど特産林産物の販売施設

視 察 レ

山形県長井市／小国町を訪問

農業振興からはじまった生ゴミの堆肥化 ー山形県長井市の実践からー

総務教育民生常任委員 佐藤 正次郎

農業振興と市民の食の健康を守る仕組み作りを目指した「レインボープラン」を実践し、全国的に注目されている山形県長井市を視察した。

長井市致芳地区の集会施設であり、保育所や公民館が併設された農村改善センターで、取り組みの概要について説明を受けた。

私たちに説明してくれたレインボープラン市民ガイドの渡部さんは、役所の議会事務局を永年経験された方で、親しみのある話をされた。



各家庭からの生ゴミを集めるポリ容器

このレインボープラン事業の発足と展開されてきた経験の中で、市政や議会、事業推進する市民の動きについてエピソード等を交えて説明をしていただいた。

あっという間に1時間30分が経過し、その後、堆肥処理施設「長井市コンポストセンター」に案内された。



完成した堆肥(コンポストセンターにて)

ー農林水産省補助で建設した堆肥化処理施設ー

“ゴミ処理事業”ではない生ゴミ対策は、“農業生産”のための土作り

堆肥を作る材料として町部の世帯から集められた生ゴミが、このコンポストセンターにおいて籾殻や豚糞、牛糞と混ぜられ醗酵し、完熟堆肥の製品となって主に郡部の農業者に販売されていく。

事業の経費は機械の管理や修理、処理人件費または生ゴミ収集経費など少なくはないが、市民消費者と農村部生産者がネットワークでつながっている。この地域循環のシステムには私たちもとても共感した。

さらに、そのシステムにより生産された米や野菜を認証し、自分達の直売施設をつくり販売していた。



生ゴミからできた堆肥を使って生産された野菜等の直売所

この取り組みを始めて20年。多くの市民が役割分担し、事業を育てていく意気込みを間近に感じることができた視察であった。

北朝鮮の核実験に抗議し、世界の恒久平和を求める決議

北朝鮮は、5月25日に核実験を実施し、更には数回にわたりミサイル発射を強行した。また、更なるミサイル発射のための準備を進めているとも伝えられている。

今日、世界各国において核廃絶に向かう気運が高まりつつある中、核実験及びミサイル発射の自制を求める多くの国の要請を無視し、このような行動を強行したことは、我が国のみならず国際社会の平和と安全に対する重大かつ深刻な脅威であり、平成18年10月の国連安全保障理事会の決議にも明確に違反する断じて許し難い行為である。

東成瀬村は、昭和60年9月20日に世界の恒久平和と核兵器の廃絶を願う「非核平和宣言」をしている。これは、未来永劫に受け継がれていく東成瀬村民の信念であり、願いでもある。しかるに、こうした北朝鮮による一連の暴挙は、いかなる理由があろうとも正当化されるものではなく、一層の怒りを禁じ得ないものである。

よって、東成瀬村議会は、北朝鮮の核実験及びミサイル発射に断固抗議し、国連安全保障理事会決議の完全な履行と、今後の核実験及びミサイル発射の中止、六カ国協議への無条件復帰を強く求めるものである。

以上、決議する。

平成21年6月12日

東成瀬村議会

中山間地域等直接支払交付金制度の存続を求める意見書

農業生産条件が不利な傾斜地等を多く有する中山間地域の農業従事者に補助金を交付する中山間地域等直接支払交付金制度は、制度が創設された平成12年度以来、その目的に即して全国各地で様々な事業が計画・実施され、中山間地域の農村が持つ水源涵養、洪水防止、土壌の浸食・崩壊防止、耕作放棄地の拡大防止や耕地への復元、自然生態系の保全などに極めて大きな役割を果たしてきました。

これらに加え、この制度の重要性や有効性などが多くの住民に認知されてきた平成17年度以降の第2期対策では、様々な集落内の活動を通して住民同士のコミュニケーションが深まったことにより、自分たちの集落の課題についての認識を共有するとともに、集落の将来像について共通の目標を持つことができ、更に農地や水路、景観の保全等に対する意識が高まるなど、多くの住民から本制度の成果が高く評価されているところであります。

また、この制度を活用した農業者の努力によって中山間地域の農地の保全が進められたことにより、中山間地域が持つ多面的な公益的機能が下流域の都市住民を含む多くの国民の生命と財産、豊かな暮らしを守ってきました。

中山間地域は、人口の高齢化率がひとときわ高く、平地に比べて自然的・経済的・社会的条件が不利な地域であります。そのため、国は、「中山間地域等においては、適切な農業生産活動が継続的に行われるよう、農業の生産条件に関する不利を補正するため支援を行うこと等により、多面的機能の確保を特に図るための施策を講ずる。」とし、中山間地域等直接支払交付金を交付してきたのが政府の基本的な考え方でした。

中山間地域等直接支払交付金制度の第2期対策も平成21年度が最終年度となりますが、この政府の基本的な考え方は、制度創設以来10年を経過しようとしている中山間地域の実情に照らして、現在も引き続き適合する山村振興の重要な方針であります。

よって、東成瀬村議会は、本制度の平成22年度以降の継続と更なる充実を求め、次のことを強く要望いたします。

1. 平成22年度以降も中山間地域等直接支払交付金制度を継続し、必要な財源を確保すること。
2. 事業実施の要件緩和を図ること。

議員発議による
決議・意見書

(6月定例会)

内閣総理大臣
麻生 太郎 様

農林水産大臣
石破 茂 様

財務大臣
与謝野 馨 様

教育長



行政報告

村長



「夏期巡回ラジオ体操」が村に来る!

- ▼平成21年度全国学力テストが4月21日に実施される。
- ▼チャレンジデーは85・2%で勝利。皆さんのご協力に感謝。
- ▼小中連携でキバナコスモス3千株蒔く。今後も事業多数。
- ▼村民体育館工事、1月の完成を目指す。
- ▼「夏期巡回ラジオ体操」が8月11日東成瀬村で開催される。村のPRのためにも村民多数の参加をお願いしたい。
- ▼「ゆるるん」の活用の一環で「釣りキチ三平」上映。住民に好評。8月18日に京都大 学交響楽団演奏会を開催予定。村民の皆さんに聴いてほしい。
- ▼子育て支援計画については今年度「東成瀬村次世代育成支援行動計画」の後期計画を策定の予定である。
- ▼今年度の生涯学習教室は13講座15教室でスタートした。

- ▶保育所統合については、「東成瀬村就学前の保育・教育を考える会」の提言や保護者アンケートの結果等を参考に、様々な視点から検討を重ねた結果、田子内地区に平成22年度内の統合保育所の完成を目指し、平成23年度から供用を開始したい。
- ▶国の景気対策として、「経済危機対策臨時交付金」と「公共投資等臨時交付金」が示され、今後これらの交付金事業について有効な活用を検討していく。
- ▶村の光ケーブル網の整備については、共同アンテナ地域の「地デジ対応」も含めて実施することで進めていく。
- ▶新型インフルエンザに関しては、感染患者が発生した場合には、雄勝中央病院と連携を図って対応していく。
- ▶合併処理浄化槽設置事業については、今年度の優先地区が大字椿川地区が対象となる。今年度が設置する最後の機会となることから、なお一層の浄化槽設置基数の増加に努める。

田子内に保育所を統合

皆さんからの請願・陳情

6月定例会に提出された陳情は次のとおり決定した。

	件名	審議結果
1	「物価に見合う年金の引き上げ」の意見書の採択を求める陳情 全日本年金者組合秋田県本部 執行委員長 渡部 雅子 他1名	採 択
2	「保険で良い歯科医療の実現を求める意見書」の採択を求める陳情 秋田県保険医協会 会長 三浦 利治 他1名	採 択
3	政府が自ら決めた備蓄ルールに基づいて、20万トン規模の政府米買入れを求める陳情 秋田県米価対策共斗会議 代表者 議長 佐藤 長右衛門	採 択
4	ミニマムアクセス米の輸入見直しに関する陳情 農民運動秋田県連合会 委員長 佐藤 長右衛門	採 択
5	農地法の「改正」に反対する陳情 農民運動秋田県連合会 委員長 佐藤 長右衛門	継続審査
6	日米地位協定に関わる「裁判権放棄の日米密約」の公表と廃棄を求めることを要請する陳情 秋田県平和委員会 理事長 風間 幸蔵	継続審査

(1～4の陳情については、国など各関係機関に意見書を送付した)



暑さに負けずゴールを目指せ!

たごない歩け歩け大会

四季の ONE SHOT

私もひとごと



肴 沢
佐々木 優さん
(東成瀬中学校 1年)

「明日に向かって」

「ゲームセット!」総体の決勝戦、最後の打者で凡退した僕は、試合が終わった後も悔しくて何も話す気になりませんでした。

「打撃面でチームの力になることが出来なかった。」このことが、今の僕のバットに重くのしかかっています。総体という舞台上でヒットが打てなかった理由は、自分の努力が足りなかったからなんだと実感したので、先輩方に教えてもらったことを決して無駄にはせず、これからの練習に生かしていきたいです。

また、今こうして野球に打ち込むこと、試合に出られることは、早朝から弁当を作ったり洗濯してくれたりする家族、「頑張れ!」といつも応援してくれる近所の方、野球指導してくれる先生等、たくさんの方々のお陰だと思います。

今僕は、新たな舞台に向かって走り始めました。先輩達が成しえなかった夢を、きっと叶えてみせます。限り無い可能性が広がる「明日に向かって。」

編集室

- ▼私たちの心に残る「岩手・宮城内陸地震」あれから一年。まだまだ復興には時間がかりそう。私たちの心の傷も!
- ▼盲目のピアニスト辻井伸行さんが!の快挙を成し遂げたことに感動!心から拍手を送りたい。
- ▼山の幸まんさい。自然の豊かさに感謝して環境に良いことを心がけなければならぬ。
- ▼PTA語録
- ・ケガをするからナイフを持つなと教える親
- ・ケガをしても善し悪しをしっかりと見極め、ほめてやる親
- ・落ちるから池には近づくなという親
- ・もし落ちたら一生懸命泳ぐんだよと対処方法を考える親
- ・子どもの将来を考えたとき、どちらが正解か。
- ▼ある高齢者
- 「しえんこや物なんか何もいらねえ。優しい言葉つかけてもらえばええなだ。非常に考えさせられる言葉だ。」
- 少年高齢化が進む中、高齢者に対する尊敬や感謝の念が無さ過ぎるのでは!。

発行/東成瀬村議会 ■編集/議会広報対策特別委員会
 〒019-0801 秋田県雄勝郡東成瀬村田子内字仙人下30-1
 TEL.0182-47-3411 FAX.0182-47-3117
 E-mail:gikai@vill.higashinaruse.akita.jp

印刷/株式会社増田印刷所